

令和8年度 全国学力学習状況調査の結果について

令和8年8月31日
京都市立京極小学校
校長 久米 昌代

今年度、4月23日に本校6年生を対象に実施された「全国学力学習状況調査」について、7月22日に結果をお知らせしています。本調査は、国語と算数の2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

【国語】

全国ならびに京都府、全国平均正答率を随分上回る結果でした。特に「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」問題で、全員が正しく書いていました。また、「文章を読んで理解したことに基ついて、自分の考えをまとめる」問題でも①文章を読んで考えたこと②文章から言葉や文を取り上げて書く③自分の経験を書くという3つの条件に合わせて書くことができていました。一方で、「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える」問題や「情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができるかどうかをみる」問題では京都府と全国の正答率より少し下回っていました。報告文の構成の読み取りや文章を読んで図式化することに慣れていなかったことが考えられます。今後は、報告文などの文章全体の構成や展開を考えることや、図などに書き表す機会を増やしていく必要があると考えます。

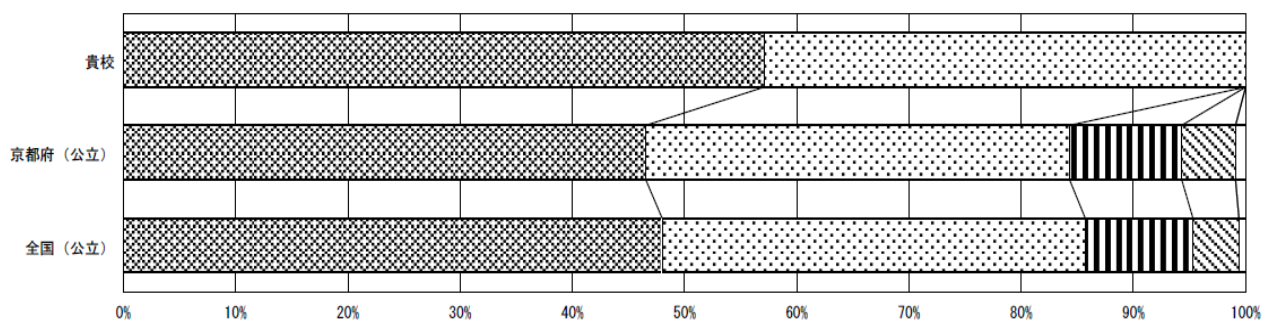
【算数】

全国ならびに京都府、全国平均正答率を随分上回る結果でした。特に「立方体の体積の計算による求め方」についての問題と「3枚の整数のカードを当てはめてつくることのできる最も大きい数を書く」問題で全員が正解していました。ただ、「単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断する」問題では、正答率が京都府、全国の正答率より下回っていました。また、「二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかをみる」問題では、正答率が京都府、全国の正答率を少し上回っていましたが、正解している児童が少なかったです。今後は、単位量当たりの大きさを求める問題や、二次元の表の読み取りの問題の復習が必要であると考えます。

【児童質問紙】

① 学校に行くのは楽しいと思いますか。

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答

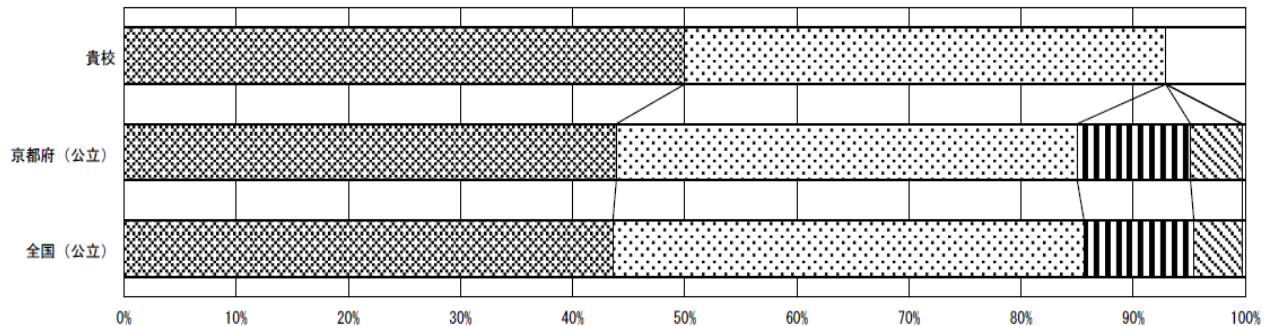


京都府・全国と比べ、「当てはまる」を選択した児童が多いですし、「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を選択した児童がいませんでした。4月から最高学年になり、たてわりグループのリーダーや登校班の班長・副班長などで他学年の児童たちにやさしく教えている姿が見られます。また、京極学習では、全校児童が楽しめるような活動を考え、意欲的に取り組んでいました。このようなことから、学校生活を楽しくすごしていることが伺えます。2学期からも楽しい学校生活が送れるよう、教職員皆で見守り、サポートをしていきます。

【児童質問紙】

②自分には、よいところがあると思いますか。

☒ 1. 当てはまる ☐ 2. どちらかといえば、当てはまる ☐ 3. どちらかといえば、当てはまらない ☐ 4. 当てはまらない ☐ その他 ☐ 無回答

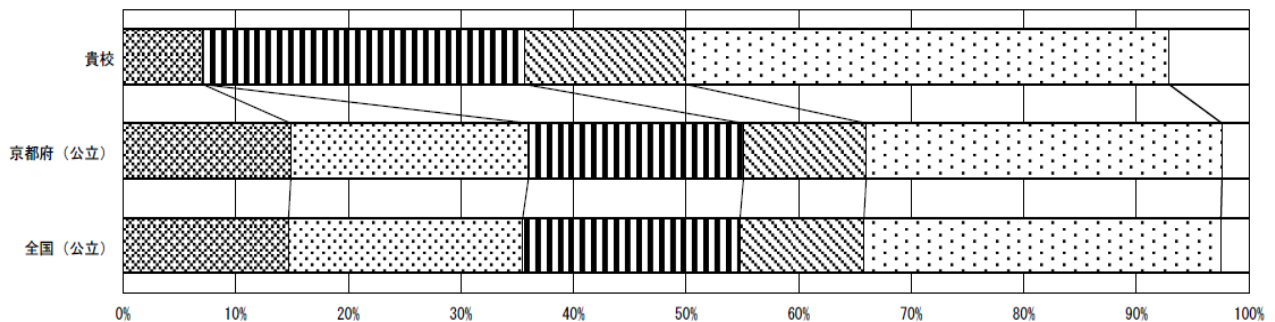


京都府・全国と比べ、「当てはまる」を選択した児童が多いですし、「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を選択した児童がいませんでした。自分に、よいところがあると思えることは、とてもよいことです。今まで、家庭や学校などのあらゆる場で、ほめてもらったり、認めてもらったりした経験があり、自己肯定感が高いのだと考えます。今後も、自分に自信をもって色々なことに取り組んでいってほしいです。

【児童質問紙】

③学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。

☒ 1. ほぼ毎日 ☐ 2. 週に1～2回 ☐ 3. 月に1～2回 ☐ 4. 年に1～2回 ☐ 5. ほとんど、または、全くない ☐ その他 ☐ 無回答



京都府・全国と比べ、「ほぼ毎日」を選択した児童が少なく、7.1%でした。「週に1～2回」は0%、「月に1～2回」が28.6%、「年に1～2回」が14.3%、「ほとんど、または全くない」が全体の半数近く、42.9%もいました。これらの結果から、学校での悩みについて、家庭で話をすることが少ないようです。学校で先生や友達に悩みを相談したり、家族に心配をかけてはいけないと自分で解決しようとしていたりしているのかもしれません。この機会に、お子さんと学校での様子を聞いたり話をしたりしてみてください。

今年度、児童が自ら問いを持ち続け、学習の見通しをもって取り組んでいく力を大切にしています。今後も学校と家庭の連携で学習効果を高めていけるようにしていきたいと考えます。子どもたちの健やかな育ちと学びの実現にご協力をお願いします。